

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備 (農道舗装)
事業主体 (連絡先)	山ノ内町役場 農林課 耕地林務係 (電話 0269-33-3112)
事業区分	主となる区分 (1) 地域協働の推進に関する事業 関連する区分 (6) イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	2,332,803 円 (うち支援金: 1,166,000 円)

事業内容

実施事業箇所は、町の主力農作物であるりんご等の果樹や田を耕作している。しかし近年ゲリラ豪雨をはじめとした異常気象に未舗装農道の路面洗屈被害が著しく、農作物の荷痛みや安全面等で不安を感じていた。このたび、計4箇所・総延長323mの農道を、受益者自らの手によりコンクリート舗装で整備し、もって諸課題の解決及び農村全体が元気になることを目指して事業を実施した。



(佐野地区での作業の様子)

事業効果

- コンクリート舗装整備により、果樹等の荷痛みの防止など、スムーズな農作物運搬が可能になった。
- 荒天時でも安心して農耕車両を運転できるなど、農作業の効率化と安全性の向上が図られた。
- 行政頼みでなく、地域が中心となり率先して事業を進めたことで、農業者の生産意欲向上が図れた。
- 作業は非常に労力を要するものであったが、地域関係者が協力して進めたことにより、地域の連帯感が増したとともに、農村地域の自立意識の向上が図れた。

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

- 【目標・ねらい】
- 農作物運搬時の荷痛み防止
 - 農作業の効率化と安全性向上
 - 農業生産意欲の向上
 - 農村地域の自立意識の高揚

※2 自己評価 (事業効果) 【B】

今後の取り組み

- 今回整備した箇所と同様の地域が他にもあることから、町全体としての課題解決を目指して、今後も引き続き本事業を継続していく。
- 高齢化が進む農業において、未舗装農道の維持管理の労力を軽減し、農業に従事できるよう、他の事業箇所の検討をする。
- 農道整備以外の他の仕組みを構築するなど、町全体としての課題解決に向けた多面的な検討を併せて進めていく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある